

BUNKANOMORI EXHIBITION



「蛤蜊観音図」江戸時代 會津八一記念博物館蔵

平成22年度 美濃加茂市・早稲田大学 文化交流事業 共催展

# 「美濃の白隠」展

●会期 12月11日(土)～2011年 2月 2日(水)

会期中の休館日 12月27日～1月 4日、11日、17日、24日、25日、31日

●会場 企画展示室

●観覧料 一般・・・200円、20名以上の団体・・・100円  
高校生以下及びかるちすくらぶ会員・・・無料

●ミュージアムトーク

1月12日(水) ①11:00～、②14:00～



「濃陽富士山記」(板地墨書) 1716年

白隠慧鶴(はくいん えかく・1685～1768)は、臨済宗妙心寺派の僧です。駿河国(現静岡県)に生まれ、15歳で出家しました。

白隠は修行のため、宝永元年(1704)にはじめて美濃を訪れます。正徳4年(1714)、30歳のときに再び美濃を訪れ、翌年、山之上村(現 美濃加茂市山之上町)にたどり着きます。そこで村の有力者であった鹿野善兵衛に身の回りの世話を受けながら、父の病で帰郷するまでの1年9ヶ月の間、岩滝山の岩に座り、坐禅の修行を行いました。

本展では、美濃加茂市内及び岐阜県内などにのこる白隠の書画を展示し、その足跡をたどるとともに、早稲田大学會津八一記念博物館から白隠の作品を紹介します。

museum forum

●日時

●会場

●内容

講演会 「白隠書画の魅力」	1月23日(日) 14:00～15:30	緑のホール	幅広い画題と独創的な表現で知られる白隠の書画。その魅力についてお話をいただきます。 講師:浅井京子氏(早稲田大学特任教授) 当日13:30より受付。聴講無料 定員:120名
------------------	-------------------------	-------	--

SHOP NEWS

ミュージアムグッズの紹介  
※総合案内横ミュージアムショップにて販売しております

絵本作家・高島純さん書き下ろしイラスト!



10周年記念 オリジナルマグカップ 500円



ふるさとファイルNO.15  
「美濃の白隠」 A5判 200円

thank you! 次の方々から貴重な資料をいただきました。



火鉢  
鵜飼 守さん(森山町)

サオバカリほか  
近藤 久美子さん(西町)

鯉のぼり  
山崎 宣子さん(下米田町)

縄文土器ほか  
大竹 庄司さん(可児市)

ありがとうございました

みのかも文化の森  
美濃加茂市民ミュージアム

MINOKAMO CITY MUSEUM  
〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1  
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104  
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

ご利用のご案内

開館時間 9:00～17:00  
(ただし、展示以外の施設利用は22:00まで)  
休館日 月曜日・第4火曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)、年末年始

■1月・2月・3月の休館日  
1月 1～4日、11日、17日、24日、25日、31日  
2月 7日、14日、21日、22日、28日 3月 7日、14日、22日、28日

■交通  
鉄 道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで特急で約40分、駅北口より徒歩約17分  
自 動 車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

■あい愛バス  
JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分)  
平 日/平成記念公園線(1日2～3往復)  
土日祝日/文化の森公園線(1日10往復)  
運 賃/一般 200円 小中学生 100円 未就学児無料  
時 刻 表/詳しくは、美濃加茂市ホームページをご覧ください



みのかも文化の森

2011年 1/5発行

BUNKANOMORI EXHIBITION !



「My Space and My Dimension-7 (Work-A30)」 1970年 館蔵

## My Space and My Dimension(1960-2010) 船坂芳助版画展

●会期 2月11日(金・祝)～3月21日(月・祝)

【会期中の休館日】 2月14日、21日、22日、28日 3月 7日、14日

●会場 企画展示室・美術工芸展示室

●観覧料 一般・・・200円 20名以上の団体・・・100円  
高校生以下及びかるちすくらぶ会員・・・無料



「My Space and My Dimension-M844」 2010年

岐阜県吉城郡出身の船坂芳助(1939年-)は、加茂高等学校を卒業後、多摩美術大学絵画科へ進学し、絵画を学びます。以降、国内外で広く作品発表をし続け、現在春陽会に所属し、日本版画協会理事を務めています。

当館は作家から、100点を越える作品の寄贈を受け収蔵しています。今回の展覧会では、収蔵品から選び出した作品に新作をあわせ、約100点の版画を展覧いたします。

forum & event

●日時

●会場

●内容

ミュージアムフォーラム 「僕の版画人生」	2月13日(日) 1部 14:00～15:30 2部 15:30～16:30	1部 緑のホール 2部 展示室	船坂芳助が自らの作品と、制作について語ります。 1部:聴講無料 2部:200円(企画展観覧料) 定員:120名 申し込み:当日30分前より受付
アートな1日講座 船坂芳助ワークショップ 水性木版画 +アーティストトーク	2月27日(日) 13:00～13:30 (アーティストトーク) 13:30～16:00 (制作)	工芸室 陶芸室	簡単にできる水性木版画に挑戦しましょう。A5判の版画を摺ります。持ち物:エプロン、タオル 参加料:700円(講座の参加料は企画展観覧料も含まれます。トークのみ参加の方は企画展観覧料200円が必要になります) 定員:20名 申し込み:当日30分前より受付(トークのみの参加も可能です。)

事前申し込みについて 住所、氏名、電話番号、希望講座名をご記入の上、はがきまたは直接ご来館の上、お申し込みください。 ■電話、FAX、メールによる受け付けは行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。

イベント minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
12/11(土) 2/2(水)	収蔵品展	美術工芸展示室	無料	—	当館のコレクションの中から、美濃加茂市ゆかりの作家たちの作品を展示します。
1/15(土) 14:00~15:00	第102回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「手のひらが覚えている」 森浩美/作 『99のなみだ 花』より「じゅげむ」
2/19(土) 14:00~15:00	第103回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「ともしび」 杉みき子/作 「おにのめん」 川端誠/作 「花宵」 山本周五郎/作
3/19(土) 14:00~15:00	第104回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「葉桜と魔笛」 太宰治/作 『99のなみだ』より「君の卒業式」 名取佐和子/作
~3/21(祝)	収蔵品展 暮らしカル道展	生活体験館 民具展示館	無料	—	昔の道具から、人々の知恵や生活の苦勞などを 知ります。学校の学習活動とも連携し、体験 しながら学びます。

四季を食べる講座 minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒に  
この地域に伝わる料理を作ります。  
料理にまつわる楽しいお話も聞けます。  
会場:生活体験館  
時間:10:00~13:00  
定員:20名  
参加料:300円  
持ち物:エプロン、三角巾

●開催日	●名称	●内容	●申し込み方法
2/1(火)	手作りみそ	みそ汁離れが著しい現代…こ んな美味しいみそなら毎日飲 みたくなるかも?!	事前申し込み [1/5(水)~1/18(火)]
2/20(日)	干し野菜	野菜は干すと保存もでき、栄 養価もアップ!	当日受付 (30分前より)

特別講座 minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/23(日) 10:00~13:00	漬物フェスティバル	四季を食べる講座で毎回大 好評のお漬物の数々が、今 回の講座で勢揃い。漬物づ けの講座です。	事前申し込み [12/26(日)~1/9(日)]	生活体験館	300円	50名

ていねいな暮らし講座 minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
~1/10(祝)	門松立てとしめ飾り	生活体験館の年中行事。 門松を立て、白や緞にしめ 飾りをつけます。 (自由観覧)	—	生活体験館	無料	—
2/19(土) 4/3(日)	ひなかざり	生活体験館の年中行事。 土びなを飾り、野山の花を そなえます。(自由観覧)	—	生活体験館	無料	—

アートな1日講座 minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/30(日) 13:00~16:00	絵馬をつくらう	新年です。オリジナルの絵馬 をつくりましょう。 持ち物:エプロン、タオル	当日受付 (30分前より)	工芸室	500円	20名
3/27(日) 13:00~16:00	陶芸	手びねりの技法またはろくろ で簡単な器をつくりま す。出来上がった作品は、後日お 渡しします(送付の場合有料) 持ち物:エプロン、タオル	当日受付 (30分前より)	陶芸室	1000円	20名

ミュージアムレポート

10周年になりました。文化の森

2000年10月に開館したみのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアムは、多くの方々に支えられてこのほど10周年を迎えることができました。ありがとうございました。

開館に向けての20年近い準備期間の活動から、この施設がめざす姿として「自然との共存」「学校教育との連携」「市民参画」「地域づくり」の4点を理念として掲げました。このことを踏まえ、今後あらためて考えていくべきことがあります。

まず、館が持つ地域の資料や作品、さらには市内の各所にある地域資源をしっかりと保存調査し、蓄積して市民や地域のために生かしていくことです。それは将来へ保存し伝えるという、今を生きる私たちの責務でもあり、「地域力」を生かすミュージアムとしての公的な使命でもあると思います。

二つ目は、ミュージアムや地域にある「モノ」の持つ意味やすばらしさ、楽しさを人に伝える努力を怠らないことです。ミュージアムは人々が五感を研ぎ澄まして感動を得、知的好奇心を満たすことのできる自由な空間であることを再認識する必要があります。

「今の人々に伝える」「将来の人々に伝える」。このことを見つめなおし、まちづくりの大事な柱として「文化」を発信していく、地域の「磁場」と「触媒」でありたいと願います。「市民」と「市民」が相互に交流しながら、新しいネットワークや価値観が築かれていく場として、文化の森がこれからさらに機能できたらと考えます。

(M・K)



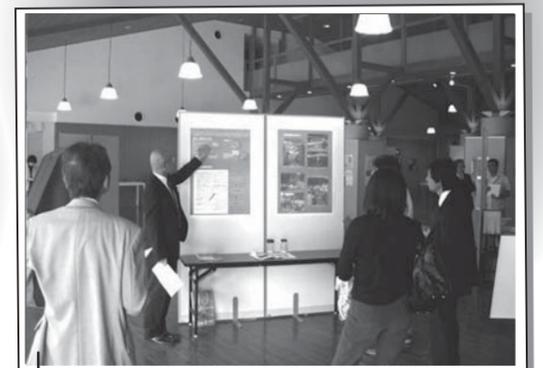
『ボランティアサンクスデー』(10/9)…生活体験館



『ポスターで振り返る文化の森10年』(10/1~10/31)



『ミュージアムフォーラム(地域とミュージアムのこれから)』(10/24)



『博学連携フォーラム』(10/16)…ポスターセッション風景